

ウルグアイ概況

一般事項	政治動向	二国間関係																																																															
<p>国名：ウルグアイ東方共和国 Oriental Republic of Uruguay 面積：17万6,000平方キロメートル（日本の約半分、出所：INE） 人口：349万人（2017年推計、出所：INE） 首都：モンテビデオ 人口138万人（2017年推計、出所：INE） 行政区分：19県 公用語：スペイン語 民族：欧州系90%、欧州系と先住民の混血8%、アフリカ系2% 宗教：主にキリスト教（カトリック）</p>	<ol style="list-style-type: none"> 保守系二大政党であるコロラド党、国民党および1970年代より伸長した左派連合（FA（拡大戦線））を基盤とする民主主義国。2005年にウルグアイ初の左派政権が誕生して以来3期連続でFAが与党の座にある。 1973年から1985年まで文民・軍事独裁政権。その後、伝統二政党（コロラド党、国民党）による中道左派政権は民主主義の回復・発展、自由主義的経済政策の推進、財政改革等を展開。しかし90年代に起こった経済危機の影響で国民の二大政党に対する信頼が低下。2005年にはバスケス候補の当選により史上初の左派政権が誕生し、FAが上下両院でも過半数をおさえ、続く地方選挙でも勝利しさらに躍進した。 第一次バスケス政権は経済、教育、社会福祉、貧困削減等の面で多大な成果をあげ、支持率80%で任期を終えた。2010年、かつて左派ゲリラであったムヒカ前大統領が政権を引き継ぎ、前政権の方針を踏襲しつつ教育、治安、住居およびインフラ分野を主要課題として取り組んだ他、農業、技術振興（農業・工業等）、再生可能エネルギー投資、観光等の分野にも力を入れた。また、中絶合法化、同性婚合法化、大麻合法化等これまでにない政策も実施した。 2015年、バスケス候補が大統領に再任。第二次バスケス政権はこれまでのFA政権方針を引き継いで社会・教育・保健衛生政策を積極的に推進している。これまでの成果として包括的弱者ケア制度創設、イビラピタ計画（退職者向けのタブレット無償配布）の実施などが挙げられる。一方、内政上の重要課題である教育改革は難航しており、当初の計画より縮小された予算に反発した教職員がストライキや職場占拠を断行した。その他、目下の課題として貿易多角化、道路・港湾インフラ整備、治安対策、地方格差是正にも取り組んでいる。 	<p>貿易額 （単位：百万ドル）</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th></th> <th>日本の輸出</th> <th>日本の輸入</th> <th>収支</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2015</td> <td>77.7</td> <td>60.5</td> <td>17.2</td> </tr> <tr> <td>2016</td> <td>56.3</td> <td>58.8</td> <td>△2.5</td> </tr> <tr> <td>2017</td> <td>63.0</td> <td>49.0</td> <td>14.0</td> </tr> <tr> <td>2018</td> <td>64.0</td> <td>12.1</td> <td>51.9</td> </tr> </tbody> </table> <p>対日貿易の主要品目（構成比）：2018年</p> <p>日本の輸出：鉄道用及び軌道用以外の車両並びにその部分品及び附属品（27.6%）、原子炉、ボイラー及び機械類並びにこれらの部分品（24.5%）、光学機器、写真用機器、映画用機器、測定機器、検査機器、精密機器及び医療用機器並びにこれらの部分品及び附属品（13.8%）、ゴム及びその製品（11.3%）</p> <p>日本の輸入：羊毛、織獣毛、粗獣毛及び馬毛の糸並びにこれらの織物（33.2%）、肉、魚又は甲殻類、軟体動物若しくはその他の水棲無脊椎動物の調製品（19.7%）、魚並びに甲殻類、軟体動物及びその他の水棲無脊椎動物（12.6%）、動物性又は植物性の油脂及びその分解生産物、調製食用脂並びに動物性又は植物性のろう（9.3%）</p> <p>出所：GTA(元データは財務省貿易統計)よりジェットロ作成</p>		日本の輸出	日本の輸入	収支	2015	77.7	60.5	17.2	2016	56.3	58.8	△2.5	2017	63.0	49.0	14.0	2018	64.0	12.1	51.9																																											
	日本の輸出	日本の輸入	収支																																																														
2015	77.7	60.5	17.2																																																														
2016	56.3	58.8	△2.5																																																														
2017	63.0	49.0	14.0																																																														
2018	64.0	12.1	51.9																																																														
<p>基礎的経済指標</p> <p>実質GDP成長率：1.6%（2018年、出所：中銀） GDP総額：568億4,274万ドル（2018年、出所：中銀） 輸出額：74億9,489万ドル（2018年、出所：中銀） 輸入額：83億482万ドル（2018年、出所：中銀） 主要輸出品目：肉類、穀物、木材類、乳製品（出所：日本国外務省） 主要輸入品目：電気機器、鉱物資源、機械類（出所：日本国外務省） 主要輸出相手国：中国、ブラジル、オランダ（出所：日本国外務省） 主要輸入相手国：中国、ブラジル、アルゼンチン（出所：日本国外務省） 外貨準備高：155億5,700万ドル（2018年、出所：中銀） 対内直接投資額：△9億1,200万ドル（2017年、出所：中銀） 対外債務総額：419億3,700万ドル（2018年、出所：中銀） 通貨単位：ウルグアイペソ 為替レート：35.153ウルグアイペソ（2019年6月24日、出所：中銀）</p>	<p>経済動向</p> <ol style="list-style-type: none"> 1999年以降、ブラジル、アルゼンチンにおける経済危機がウルグアイ経済を直撃。これに国内での干ばつや口蹄疫の発生が重なり、ウルグアイ経済は2002年まで連続のマイナス成長を記録。しかしその後の政府経済政策（国内銀行整理等）および国際機関等の金融救済措置により、翌年にはプラス成長に転じた。経済危機を教訓として、メルコスールへの過度の依存を避け、対外経済関係の多角化を積極的に進めている。 2005年に発足した第一次バスケス政権は、前政権のマクロ経済政策路線を維持しつつ、対外債務の返済等国际的義務の履行に努め、国際的な信用も向上。順調に経済成長を続け、2008年9月のリーマンショックの影響を受けるも、2009年後半以降は回復基調に乗り、2010年の経済成長率は7.8%を達成。 ムヒカ前政権下では積極的な投資誘致や再生可能エネルギーの開発を進めたほか、牛肉や穀物の輸出拡大、ブラジルの経済成長と建設ラッシュの影響もあり、国内の自由港およびフリーゾーンを活用した物流拠点化を目指し、港湾および道路等インフラ整備にも重点を置いた。 2015年3月に再度大統領に就任したバスケス大統領は、前回政権運営時と同様、自由開放的経済政策を実施しており、さらなる貿易多角化、投資誘致を推進。しかしながら、2015年の経済成長率は0.4%と政府予測を下回り、これに物価高騰および失業率の高止まりが加わって国民の景況感が悪化した。政府は喫緊の課題としてインフレ抑制、財政赤字削減、また経済成長のボトルネックとなる運輸網の不足・劣化を解消すべく道路改修整備等に取り組んでいる。 <p style="text-align:right;">出所：日本国外務省</p>																																																																
<p>政治体制</p> <p>政体：立憲共和制 元首：タバレ・ラモン・バスケス・ロサス大統領（Tabaré Ramón VÁZQUEZ ROSAS）（2015年3月1日就任、任期5年、連続再選禁止） 議会制：二院制、上院議長は副大統領が兼任 上院 31名、下院 99名（共に任期5年） 政党：FA（拡大戦線）、国民党、コロラド党、独立党、人民同盟他 内閣（主要閣僚）： 副大統領 ルシア・トポランスキー（Lucía TOPOLANSKY） 社会開発相 マリナ・アリスメンディ（Marina ARISMENDI） 経済財務相 ダニロ・アストリ（Danilo ASTORI） 農牧水産相 エンソ・ベネッチ（Enzo BENECH） 工業エネルギー鉱業相 ギジェルモ・モンセッチ（Guillermo Moncecchi） 内務相 エドゥアルド・ボノミ（Eduardo BONOMI） 外相 ロドルフォ・ニン・ノボア（Rodolfo NIN NOVOA） 厚生相 ホルヘ・バツ（Jorge BASSO） 運輸公共事業相 ビクトル・ロッシ（Victor ROSSI） 労働社会保障相 エルネスト・ムロ（Ernesto MURRO） 住宅土地整備環境相 エネイダ・デ・レオン（Eneida de LEÓN） 中央銀行総裁 アルベルト・グラニャ（Alberto GRAÑA） 出所：外務省、ウルグアイ政府ウェブサイト（2019年3月末時点）</p>	<p style="text-align:center;">ウルグアイの主要経済指標</p> <table border="1"> <thead> <tr> <th colspan="2">項目</th> <th>2014</th> <th>2015</th> <th>2016</th> <th>2017</th> <th>2018</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>1</td> <td>実質GDP成長率（出所：中銀）</td> <td>3.2%</td> <td>0.4%</td> <td>1.7%</td> <td>2.6%</td> <td>1.6%</td> </tr> <tr> <td>2</td> <td>消費者物価上昇率（出所：INE）</td> <td>8.26%</td> <td>9.44%</td> <td>8.10%</td> <td>6.55%</td> <td>7.96%</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>賃金上昇率（出所：INE）</td> <td>12.26%</td> <td>9.88%</td> <td>11.74%</td> <td>9.03%</td> <td>8.38%</td> </tr> <tr> <td>4</td> <td>失業率（出所：INE）</td> <td>6.6%</td> <td>7.5%</td> <td>7.8%</td> <td>7.9%</td> <td>8.3%</td> </tr> <tr> <td>5</td> <td>経常収支（百万ドル、出所：中銀）</td> <td>△1,815</td> <td>△489</td> <td>324</td> <td>465</td> <td>△374</td> </tr> <tr> <td>6</td> <td>貿易収支（百万ドル、出所：中銀）</td> <td>△1,630</td> <td>△1,199</td> <td>△603</td> <td>△23</td> <td>△810</td> </tr> <tr> <td>7</td> <td>対内直接投資額（百万ドル、中銀）</td> <td>2,328.0</td> <td>916.8</td> <td>△1,180.5</td> <td>△912.6</td> <td>n.a.</td> </tr> <tr> <td>8</td> <td>対ドル為替レート（ウルグアイペソ、期末レート、出所：INE）</td> <td>24.369</td> <td>29.948</td> <td>29.340</td> <td>28.807</td> <td>32.406</td> </tr> </tbody> </table>	項目		2014	2015	2016	2017	2018	1	実質GDP成長率（出所：中銀）	3.2%	0.4%	1.7%	2.6%	1.6%	2	消費者物価上昇率（出所：INE）	8.26%	9.44%	8.10%	6.55%	7.96%	3	賃金上昇率（出所：INE）	12.26%	9.88%	11.74%	9.03%	8.38%	4	失業率（出所：INE）	6.6%	7.5%	7.8%	7.9%	8.3%	5	経常収支（百万ドル、出所：中銀）	△1,815	△489	324	465	△374	6	貿易収支（百万ドル、出所：中銀）	△1,630	△1,199	△603	△23	△810	7	対内直接投資額（百万ドル、中銀）	2,328.0	916.8	△1,180.5	△912.6	n.a.	8	対ドル為替レート（ウルグアイペソ、期末レート、出所：INE）	24.369	29.948	29.340	28.807	32.406	
項目		2014	2015	2016	2017	2018																																																											
1	実質GDP成長率（出所：中銀）	3.2%	0.4%	1.7%	2.6%	1.6%																																																											
2	消費者物価上昇率（出所：INE）	8.26%	9.44%	8.10%	6.55%	7.96%																																																											
3	賃金上昇率（出所：INE）	12.26%	9.88%	11.74%	9.03%	8.38%																																																											
4	失業率（出所：INE）	6.6%	7.5%	7.8%	7.9%	8.3%																																																											
5	経常収支（百万ドル、出所：中銀）	△1,815	△489	324	465	△374																																																											
6	貿易収支（百万ドル、出所：中銀）	△1,630	△1,199	△603	△23	△810																																																											
7	対内直接投資額（百万ドル、中銀）	2,328.0	916.8	△1,180.5	△912.6	n.a.																																																											
8	対ドル為替レート（ウルグアイペソ、期末レート、出所：INE）	24.369	29.948	29.340	28.807	32.406																																																											
		<p>要人往来：</p> <p>（往） 2015年02月 宇都外務大臣政務官 2015年03月 谷特派大使（バスケス大統領就任式） 2015年05月 西村国土交通副大臣 2017年09月 岡本外務大臣政務官 2018年03月 西川内閣官房参与 2018年12月 安倍総理大臣 （来） 2015年11月 バスケス大統領（実務訪問賓客） （ニン・ノボア外相、アストリ経済財務相同行） 2015年12月 コッセ工業エネルギー鉱業相 2016年04月 ムヒカ前大統領 2017年02月 ロバージョ大統領府副長官 2019年03月 ベネッチ農牧水産大臣 出所：日本国外務省ウェブサイトよりジェットロ作成</p> <p>日系企業進出状況： 22社（2017年10月時点） 出所：外務省「海外在留邦人数調査統計」</p> <p>在留邦人数： 356人（2017年10月時点） 出所：同上</p> <p>在日ウルグアイ人： 110人（2018年6月時点） 出所：法務省「在留外国人統計（旧登録外国人統計）」</p>																																																															